

グローブライド株式会社

証券コード：7990

# 2026年3月期 第2四半期決算 説明資料

2025年11月19日



A Lifetime Sports Company

# 2026年3月期 第2四半期決算の概要

# 2026年3月期 第2四半期連結決算ハイライト ①前期比

(百万円)

	2024/9	2025/9	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>65,253</b>	<b>65,573</b>	<b>+319</b>	<b>+0.5 %</b>
<b>売上総利益</b>	<b>24,762</b>	<b>25,363</b>	<b>+601</b>	<b>+2.4 %</b>
<b>売上総利益率</b>	<b>37.9 %</b>	<b>38.7 %</b>	<b>+0.7 point</b>	<b>—</b>
<b>営業利益</b>	<b>5,011</b>	<b>4,893</b>	<b>△118</b>	<b>△2.4 %</b>
<b>営業利益率</b>	<b>7.7 %</b>	<b>7.5 %</b>	<b>△0.2 point</b>	<b>—</b>
<b>経常利益</b>	<b>4,840</b>	<b>5,094</b>	<b>+254</b>	<b>+5.3 %</b>
<b>経常利益率</b>	<b>7.4 %</b>	<b>7.8 %</b>	<b>+0.4 point</b>	<b>—</b>
<b>親会社株主に 帰属する 中間純利益</b>	<b>3,327</b>	<b>3,928</b>	<b>+601</b>	<b>+18.1 %</b>
<b>中間純利益率</b>	<b>5.1 %</b>	<b>6.0 %</b>	<b>+0.9 point</b>	<b>—</b>

- アウトドア・スポーツ・レジャー業界の市況は、エネルギー価格の高騰や物価高による家計への負担増等の影響を受け、力強さに欠ける状況。
- 当社グループにおいては、魅力ある製品と質の高いサービスの提供を行い増収となった。
- 利益面においては、原価改善により売上総利益は増加したが、人件費や荷造運搬費の増加等により営業利益は減益となる一方で、経常利益は外貨建債権の評価益等により増益となった。

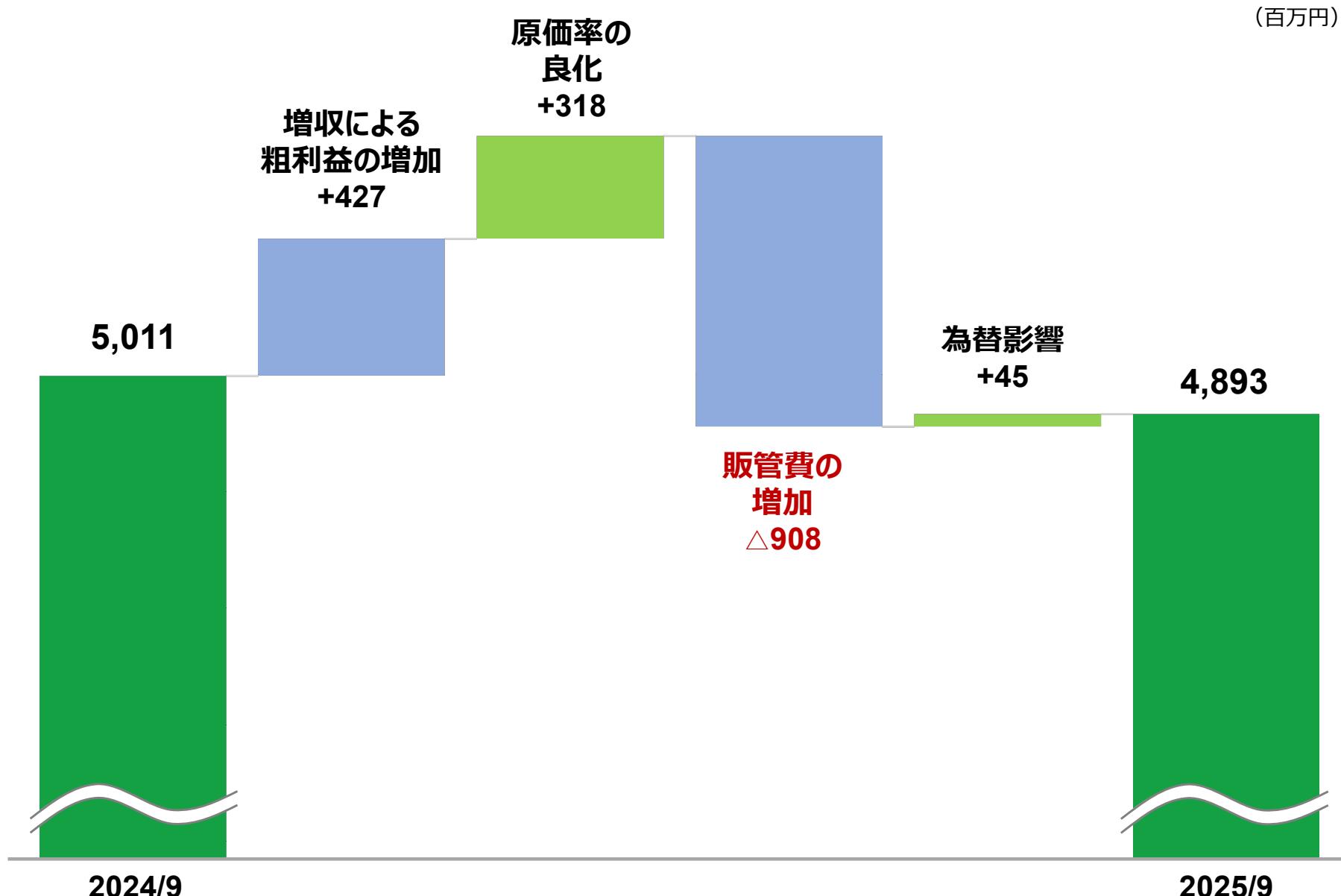
# 2026年3月期 第2四半期連結決算ハイライト ②予想比

(百万円)

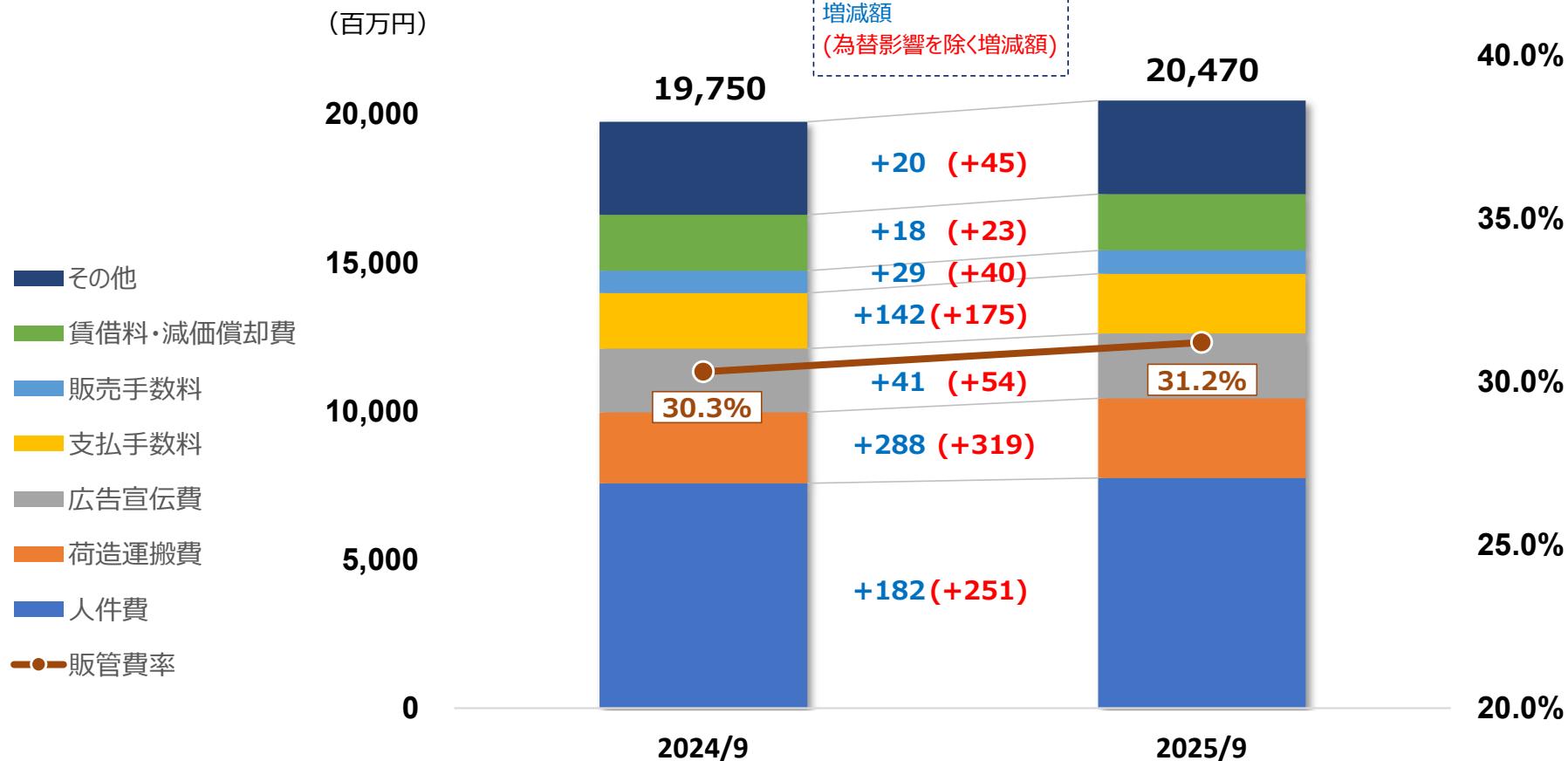
	2025/9		増減額	増減率
	当初予想	実績		
売上高	67,000	65,573	△1,426	△2.1 %
営業利益	5,300	4,893	△406	△7.7 %
営業利益率	7.9 %	7.5 %	△0.4 point	—
経常利益	5,200	5,094	△105	△2.0 %
経常利益率	7.8 %	7.8 %	△0.0 point	—
親会社株主に 帰属する 中間純利益	3,600	3,928	+328	+9.1 %
中間純利益率	5.4 %	6.0 %	+0.6 point	—

- 売上高については、エネルギー価格や物価の高騰が家計の可処分所得に影響を及ぼし、日本及びアジア地域の市場の回復が想定より遅れ、予想を下回る結果となった。
- 各利益段階では、売上高の予想比未達により、予想を下回る結果となったが、税金費用の予想比減により親会社株主に帰属する中間純利益は予想を上回る結果となった。

# 営業利益の増減要因

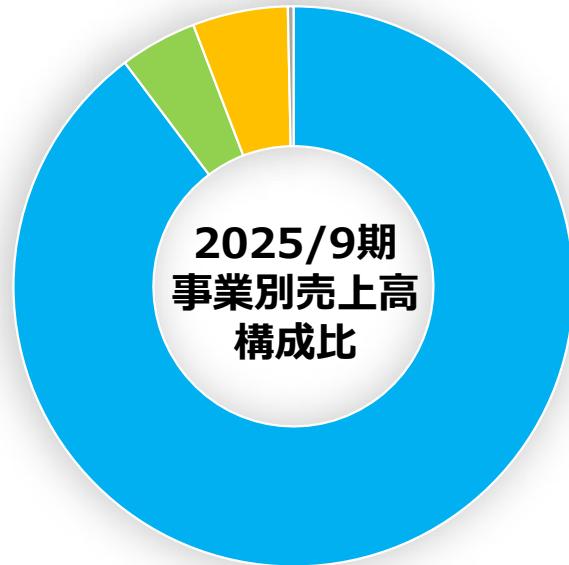


# 販売費及び一般管理費の内訳



- 販売費及び一般管理費は、賃金の上昇に伴う人件費の増加や荷造運搬費、情報システム関連費用の増加等により増加している。
- 物価の上昇やエネルギー価格の高騰などもあるが、世界各地域での市況の回復は力強さに欠ける状況にあり、グループ全体として経費の支出については使うべきものと抑えるべきものの強弱を心掛けて取り組んでいる。

# 事業別売上高の状況

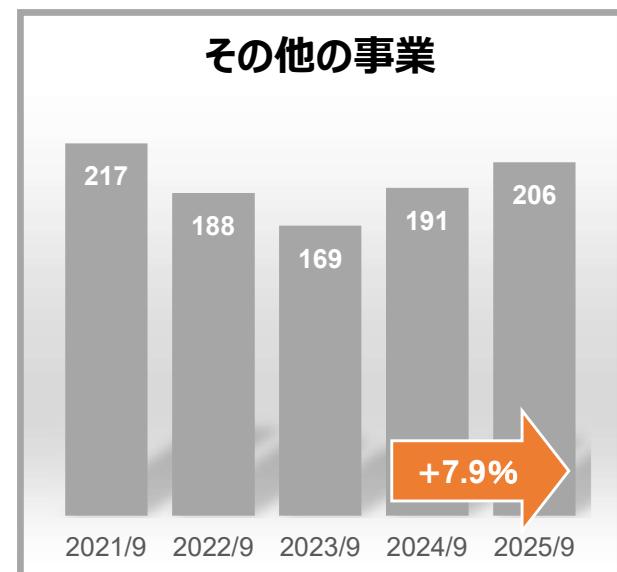
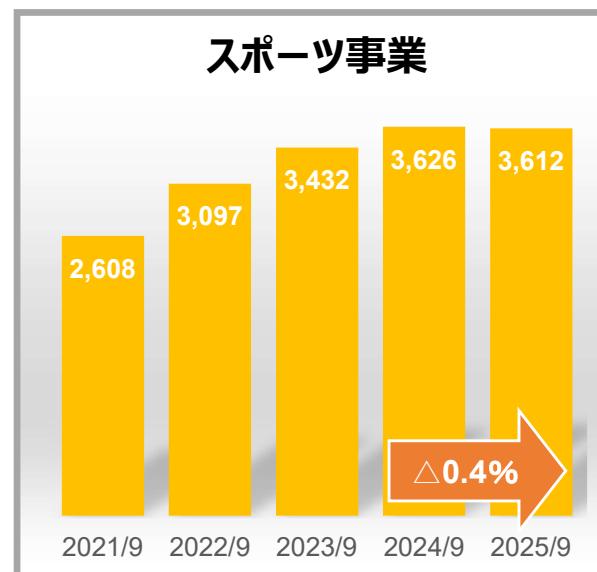
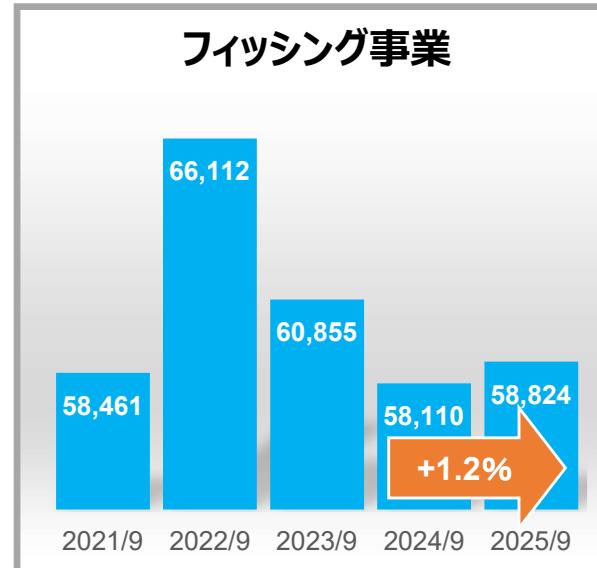


- フィッティング事業 … 89.7%
- ゴルフ事業 … 4.5%
- スポーツ事業 … 5.5%
- その他の事業 … 0.3%

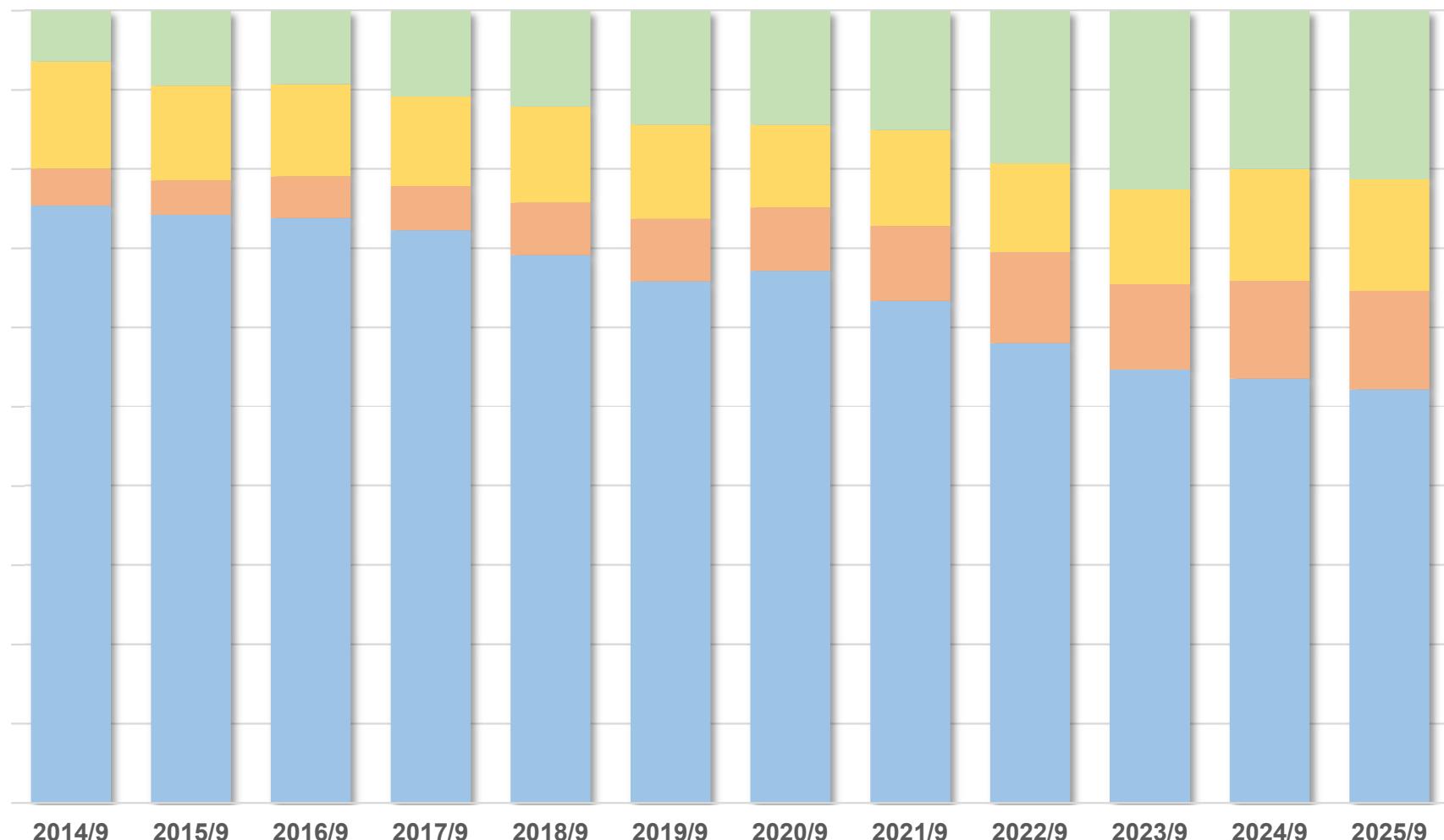
## 【市況】

フィッティング事業は、日本市場の回復は想定より遅く前年比減収となったものの、海外市場での売上増加により全体では増収となった。ゴルフ事業は国内は堅調に推移したが、海外が低迷し減収、スポーツ事業は引き続き堅調な学生需要とインバウンド需要により概ね前年並みとなった。

※グラフの単位はすべて百万円



# 報告セグメント別売上比率の推移

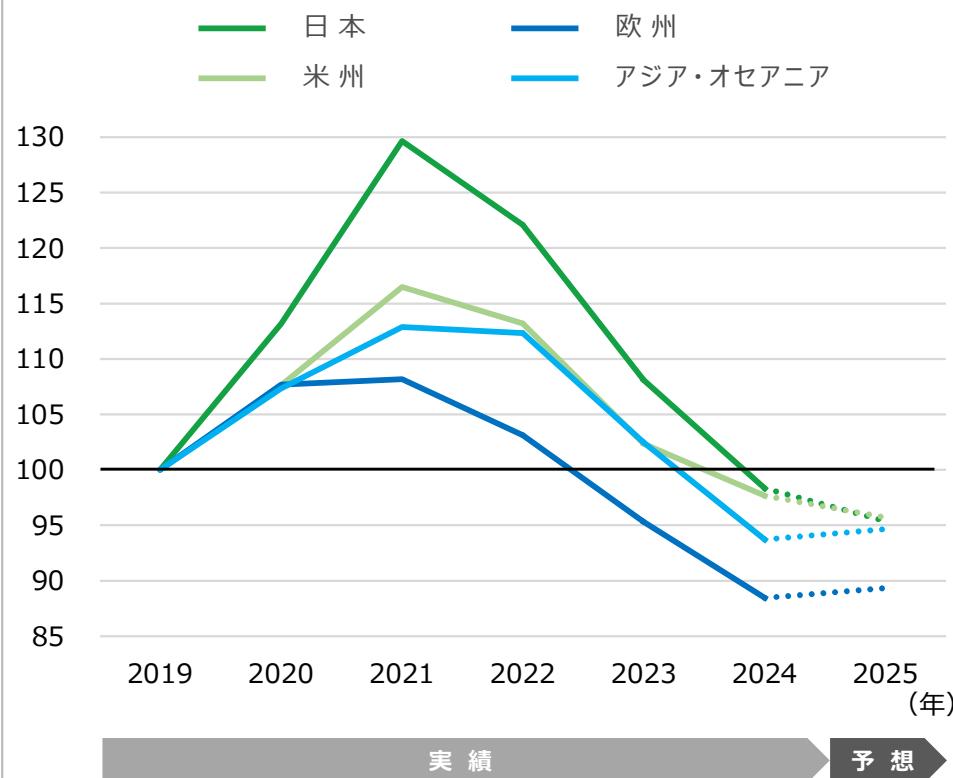


(単位 : %)

日本	75.4	74.2	73.8	72.3	69.2	65.8	67.2	63.3	58.0	54.7	53.6	52.2
米州	4.6	4.3	5.3	5.6	6.6	7.9	8.0	9.5	11.5	10.8	12.3	12.4
欧州	13.6	12.0	11.6	11.3	12.1	11.9	10.4	12.1	11.2	12.0	14.1	14.1
アジア・オセアニア	6.4	9.5	9.3	10.8	12.1	14.4	14.4	15.1	19.3	22.5	20.0	21.3

世界のフィッシング市場はインフレ・金利高等の影響を受け、回復は想定よりも遅れている

## フィッシング市場地域別推移



※ 各地域とも2019年の市場規模を100として指数化（引用：当社調べ）

## 地域別市場の状況

### 日本

- 物価高の影響を受け、高単価商品の需要が落ち込んでいる。
- 市況は緩やかに回復すると想定していたが、想定よりも回復は遅れている

### 米州

- 市場在庫の調整は落ち着き、市況は緩やかに回復しつつあるが、米国関税政策の影響等もあり、先行き不透明な状況

### 欧州

- 市況は底打ちの兆しを見せたものの、消費マインドの改善ペースは弱く、引き続き力強さに欠ける状況

### アジア・オセアニア

- オセアニア市場は比較的堅調ではあるが、アジア市場は中華圏を中心に経済の回復の足取りは重い

## 日本

**【売上高】 34,218百万円 △2.1%**

日本地域は、エネルギー価格や物価の高騰が家計の可処分所得に影響を及ぼしている状況から、アウトドア・スポーツ・レジャーの市況は依然足取りの重い状況。

そのような中、フィッシングではスピニングリール「SALTIGA」、「LUVIAS」やソルトウォーター用ロッド「EMERALDAS」、ゴルフでは「ONOFF LADY」などお客様にご満足いただける新製品の投入とサービスの提供を行ってきたが、売上高は34,218百万円（前期比2.1%減）となった。

**【営業利益】 3,766百万円 +15.3%**

営業利益は、減収による売上総利益の減少の一方で、原価率の良化により、3,766百万円（前期比15.3%増）となった。

※グラフの単位はすべて百万円



## 米州

**【売上高】 8,167百万円 +1.5%**

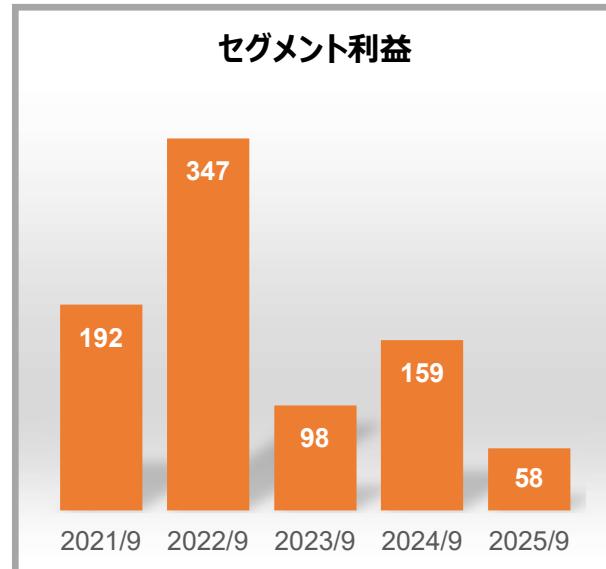
米州は、市場在庫の調整は落ち着き、市況は緩やかに回復しつつありますが、米国関税政策の影響等もあり、先行き不透明な状況。

米国市場向けには「TATULAシリーズ」を始めとしたバスフィッシング用品や海釣り用のリールを中心に販売拡大の取り組みを行った結果、売上高は8,167百万円（前期比1.5%増）となった。

**【営業利益】 58百万円 △63.2%**

営業利益は、売上増に伴い売上総利益は増加したが、人件費経費等の増加により58百万円（前期比63.2%減）となった。

※グラフの単位はすべて百万円



## 欧 州

**【売上高】 9,218百万円 +0.0%**

欧州は、各国金利の高止まりやエネルギー価格の高騰から、消費マインドの改善ペースは弱く、市況は底打ちの兆しを見せたものの、引き続き力強さに欠ける状況。

そのような中、引き続き各地域のニーズに合った製品の投入等を行い売上高は9,218百万円（前期比0.0%増）となった。

**【営業利益】 633百万円 △12.1%**

営業利益は、原価率の良化に伴い売上総利益は増加したが人件費経費等の増加により、633百万円（前期比12.1%減）となった。

※グラフの単位はすべて百万円



## アジア・オセアニア

**【売上高】 13,968百万円 +7.1%**

アジア・オセアニア地域の市況は、オセアニア市場は比較的堅調ではあるものの、アジア市場では中華圏を中心に経済回復の足取りは重く、総じて景気は低迷しており、個人消費も低調な状況。

その中で当社は、日本製の高級品や現地専用品を中心に売上拡大に取り組んだ結果、売上高は13,968百万円（前期比7.1%増）となった。

**【営業利益】 2,316百万円 △11.4%**

営業利益は、工場における生産性向上があったものの、販売会社の原価率の悪化等により、2,316百万円（前期比11.4%減）となった。

※グラフの単位はすべて百万円

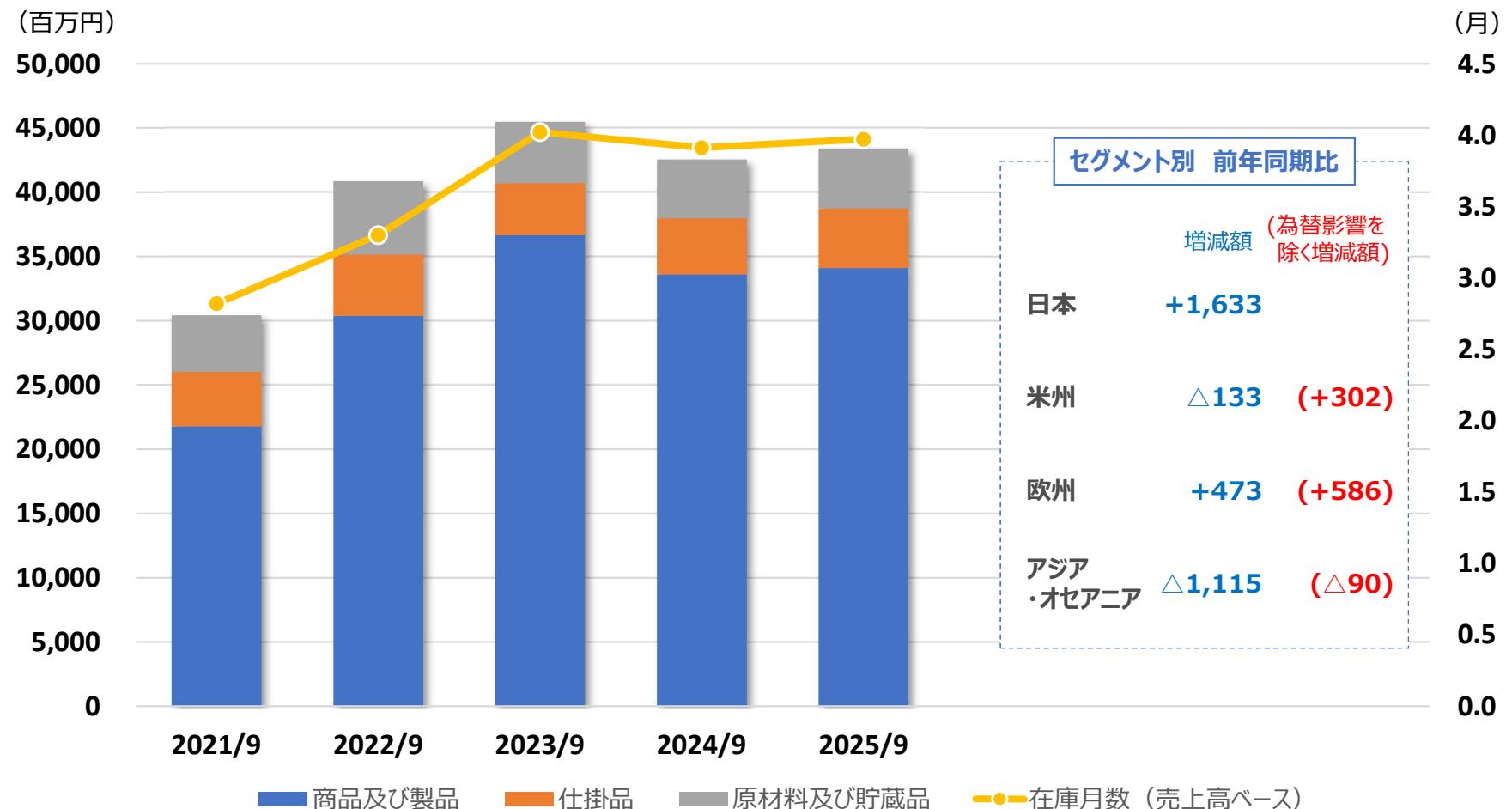


## ■ BSの状況

(百万円)

	2025/3末	2025/9末	増減額	増減率
<b>資産合計（総資産）</b>	<b>113,957</b>	<b>113,378</b>	<b>△579</b>	<b>△0.5 %</b>
流動資産	73,233	73,771	+537	+0.7 %
現預金	12,299	9,821	△2,478	△20.1 %
棚卸資産	42,208	43,396	+1,188	+2.8 %
固定資産	40,723	39,606	△1,117	△2.7 %
<b>負債合計</b>	<b>52,689</b>	<b>50,837</b>	<b>△1,851</b>	<b>△3.5 %</b>
流動負債	29,118	30,263	+1,144	+3.9 %
短期借入金	13,174	13,847	+673	+5.1 %
固定負債	23,570	20,573	△2,996	△12.7 %
長期借入金	14,609	12,021	△2,588	△17.7 %
<b>純資産</b>	<b>61,268</b>	<b>62,540</b>	<b>+1,272</b>	<b>+2.1 %</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>53.5 %</b>	<b>54.9 %</b>	<b>+1.4 point</b>	<b>—</b>

## 棚卸資産の推移



- 当社グループの在庫は、米州、アジア・オセアニアセグメントでは減少基調にあるものの、日本市場の回復遅れから前年同期比で増加しているが、在庫月数は概ね前年並みの適正な水準で推移している。

## ■ CF（キャッシュ・フロー）の状況

(百万円)

	2024/9	2025/9	増減額	増減率
営業活動CF	△1,533	2,936	4,469	—
投資活動CF	△2,725	△2,159	566	—
財務活動CF	213	△2,990	△3,203	—
現金及び現金同等物の期末残高	8,486	8,794	307	+3.6 %
FCF（フリーキャッシュ・フロー）	△4,259	777	5,036	—

(百万円)

## 連結キャッシュ・フロー



# 2026年3月期 連結業績予想

(百万円)

	2025/3期 (実績)	2026/3期		当初予想比	
	(当初予想)	(修正予想)	増減額	増減率	
売上高	123,983	130,000	125,000	△5,000	△3.8 %
営業利益	6,508	7,000	5,400	△1,600	△22.9 %
営業利益率	5.2 %	5.4 %	4.3 %	△1.1 point	—
経常利益	6,492	6,800	5,500	△1,300	△19.1 %
経常利益率	5.2 %	5.2 %	4.4 %	△0.8 point	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,783	4,800	4,300	△500	△10.4 %
当期純利益率	3.9 %	3.7 %	3.4 %	△0.3 point	—

- 当社の属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界においては、エネルギー価格や物価の高騰が家計の可処分所得に影響を及ぼしている状況。
- 通期予想については日本・アジア地域を中心に市場の回復が想定より遅れている状況にあることから、上記の通り業績予想を修正した。

2026年3月期も前年比10円増配を計画（実質15期連続増配予定）  
配当性向30%以上を目指し今後も安定した増配を目指す

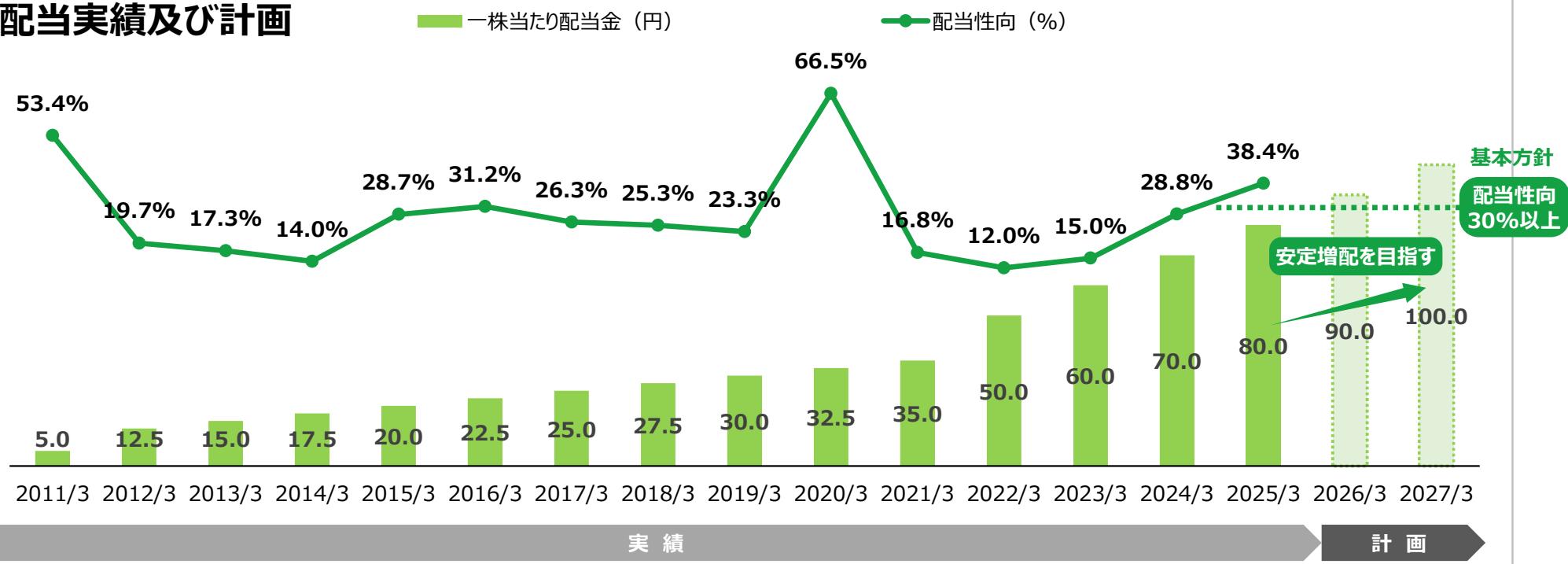
資本政策  
基本方針

ROE12%以上をターゲットとし、  
最適な資本構成を継続的に確認

株主還元  
基本方針

配当性向30%以上を目指し、  
安定的かつ継続的な増配を実施

## 配当実績及び計画



注：2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。過去の配当金は遡及修正後の数値

## 株主還元の充実並びに資本効率の向上のため、自己株式の取得を実施し、 自己株式の消却を実施予定

### ●自己株式の取得について

- (1) 取得した株式の総数：1,200,000株
- (2) 取得価額の総額：2,769,600,000円
- (3) 取得日：2025年11月11日
- (4) 取得方法：東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け

### ●自己株式の消却について

- (1) 消却する株式の数：1,200,000株（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する比率5.2%）
- (2) 消却予定日：2025年11月28日

## 2022年に取得した本社工場東側隣地を活用して、一部建物を解体した後、新たに新工場棟の建設し、生産機能を備えた工場の再編を検討

### ● 開発の概要

- (1) 所在地：東京都東久留米市前沢三丁目14番16号
- (2) 開発対象の敷地面積：約26,450m<sup>2</sup>
- (3) 開発対象の建築面積：約14,360m<sup>2</sup>（予定）
- (4) 新工場等の敷地面積：(2) のうち、約9,000m<sup>2</sup>（予定）
- (5) 新工場等の建築面積：(3) のうち、約6,960m<sup>2</sup>（予定）
- (6) 工事期間：2026年～2032年（予定）
- (7) 新工場等の供用開始予定：2029年（予定）
- (8) 新工場等の建設費及び諸費用：150億円程度（想定）
- (9) 新規生産設備の取得、既存棟の改修費用：65億円程度（想定）

※上記概要に記載の内容及び費用等は現在検討中のものであり、今後様々な要因により変更することもありますので、あらかじめご了承ください。また、2026年3月期の連結業績予想には変更はありません。

# トピックス

# SUSTAINABILITY REPORT 2025



A Lifetime Sports Company

2025年9月30日にサステナビリティ報告書「SUSTAINABILITY REPORT 2025」を発行いたしました。本報告書はグローブライドにおける事業活動や持続可能（サステナブル）な成長に向けた取り組み、社会への貢献をまとめたもので、社内外のコミュニケーションを通じてこれらの取り組みを推進することを目的として作成しています。



<詳細はこちらから>



<https://www.globeride.co.jp/sustainability/report/>

# 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定



当社は、ESG に対する取り組みが国際的に評価され、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。



## FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は環境、社会、ガバナンス（ESG）評価の高い日本の大型株、中小型株のパフォーマンスを反映するように設計されたセクター・ニュートラルな指標です。

本インデックスは、公的年金運用機関である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の ESG 投資指標の 1 つとして採用されています。

[FTSE Blossom Japan Sector Relative Index サイトはこちら](#)

<詳細はこちらから>



当社は、2025年4月より10月まで開催された大阪・関西万博（日本国際博覧会）において、「小・中・高校生がSDGs・環境問題に主体的に取り組む場」としての「ジュニアSDGsキャンプ」に出展し全4講演（体験学習会）を提供いたしました。

このコンテンツは、『ずっと楽しむ、ずっと育む、スポーツのマナビひろ場』をテーマに体験型イベントを提供し、世界中のすべての人が自然と触れ合うことのできるアウトドア・スポーツ・レジャーの魅力を伝えるとともに、自然学習をきっかけにSDGsへの関心を持つことを提案、参加される子どもたちに自由な発想とチャレンジの場を提供する体験型コンテンツとなっています。

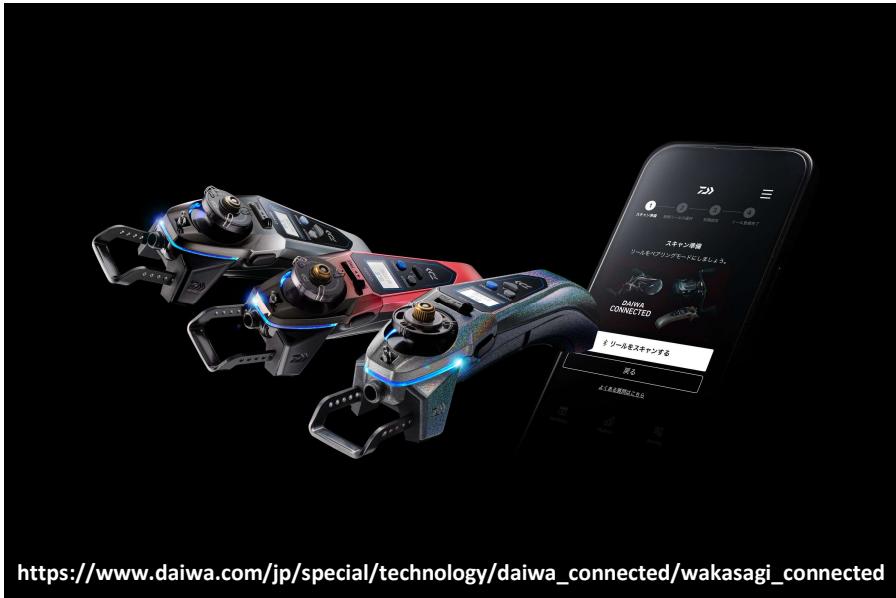


<詳細はこちらから>



# 新製品紹介

GLOBERIDE  
A Lifetime Sports Company



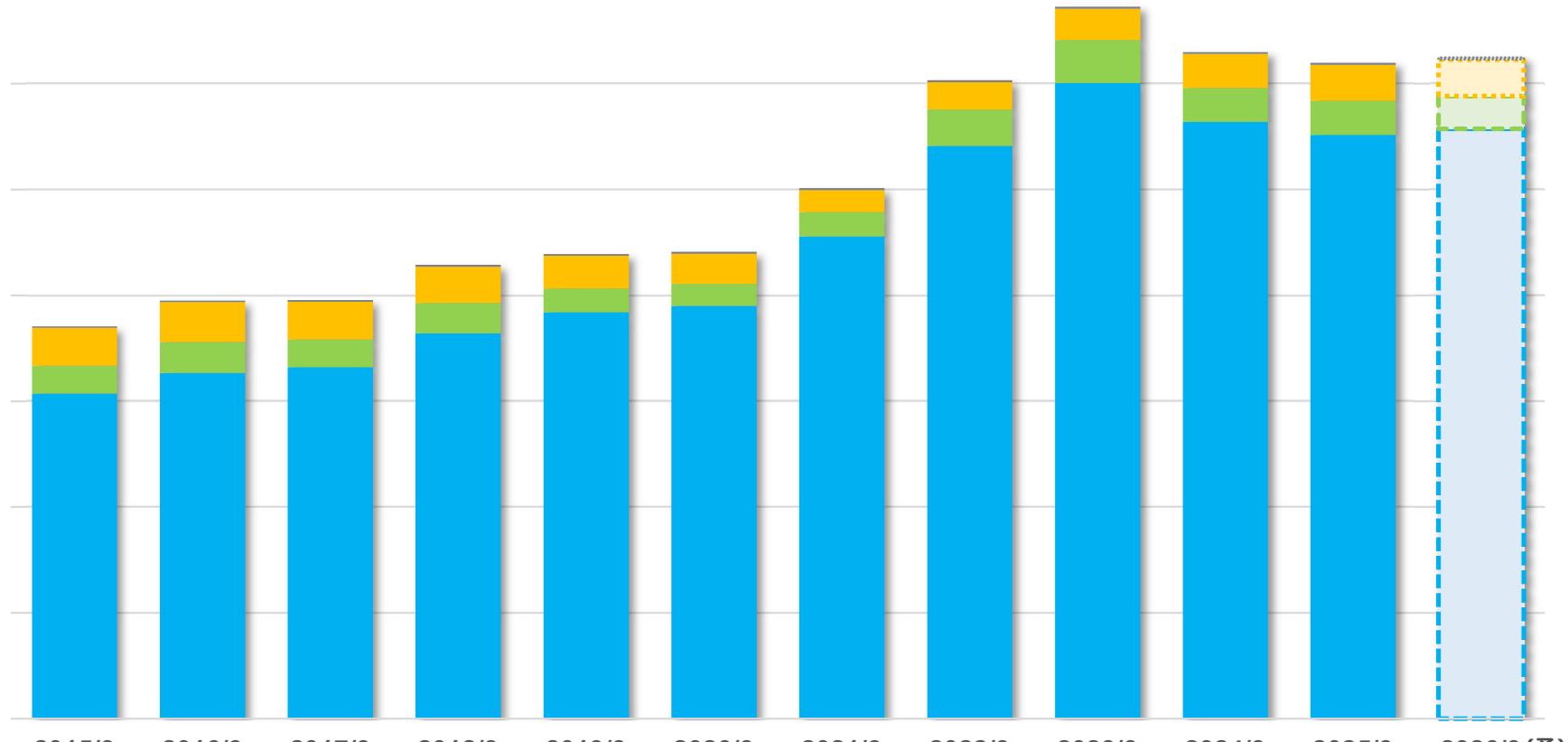


ご清聴ありがとうございました。



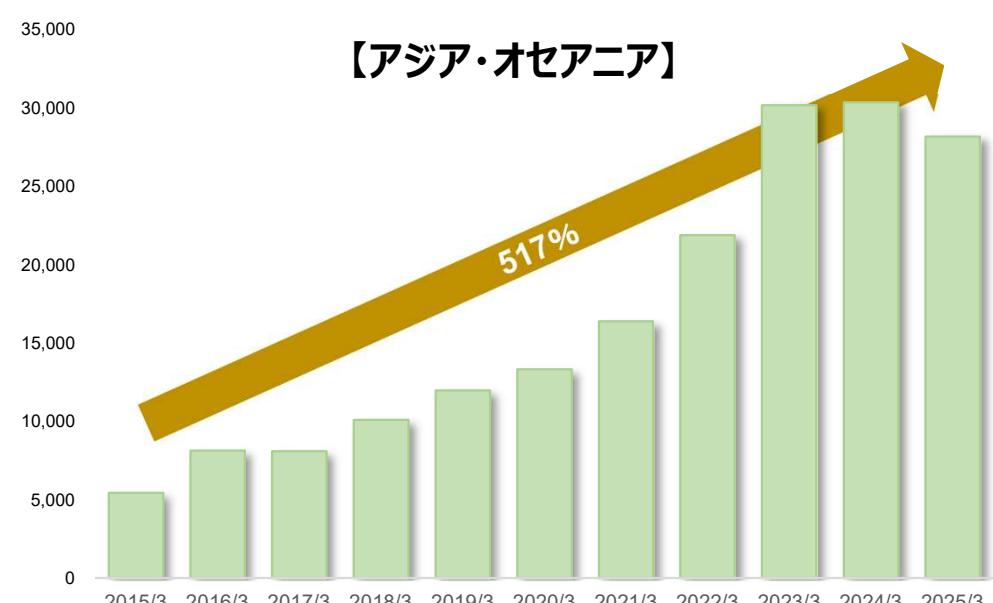
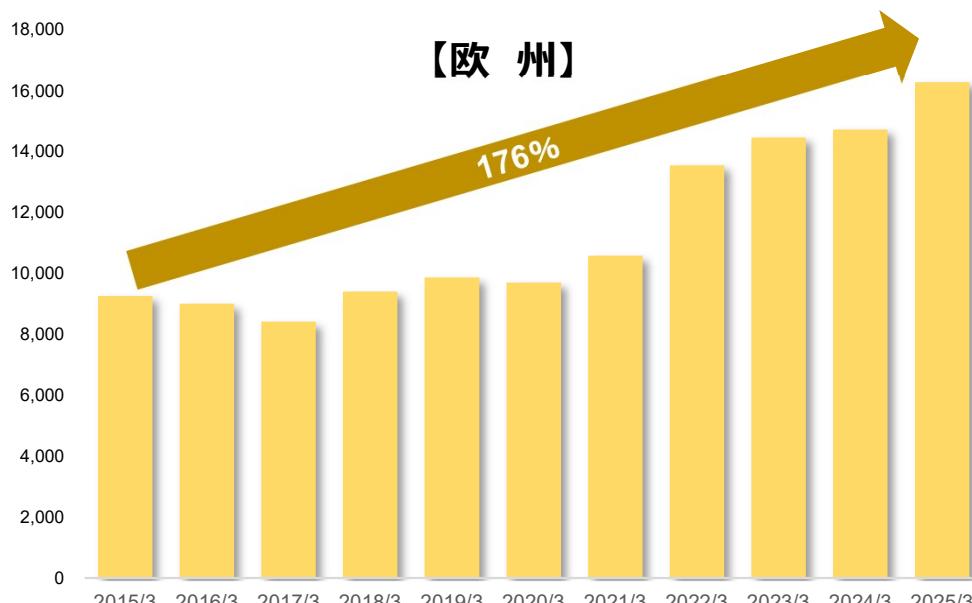
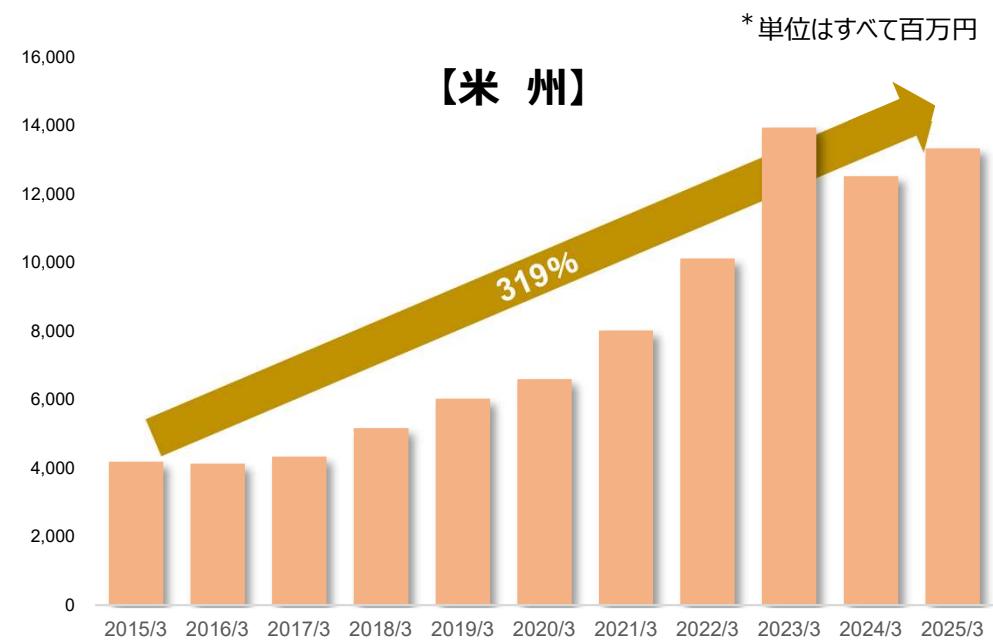
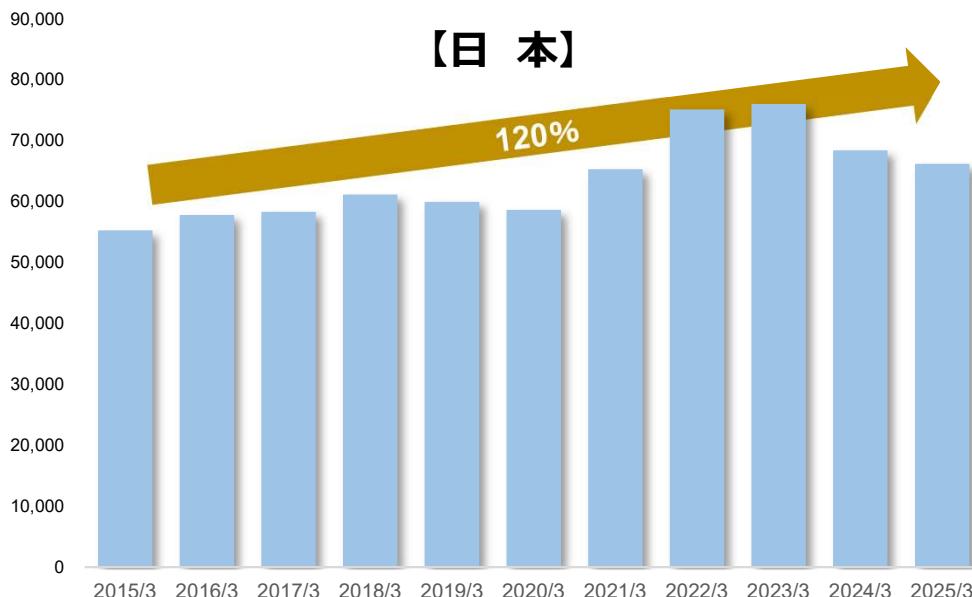
## ご参考①：長期業績データ

# 事業別売上高の推移

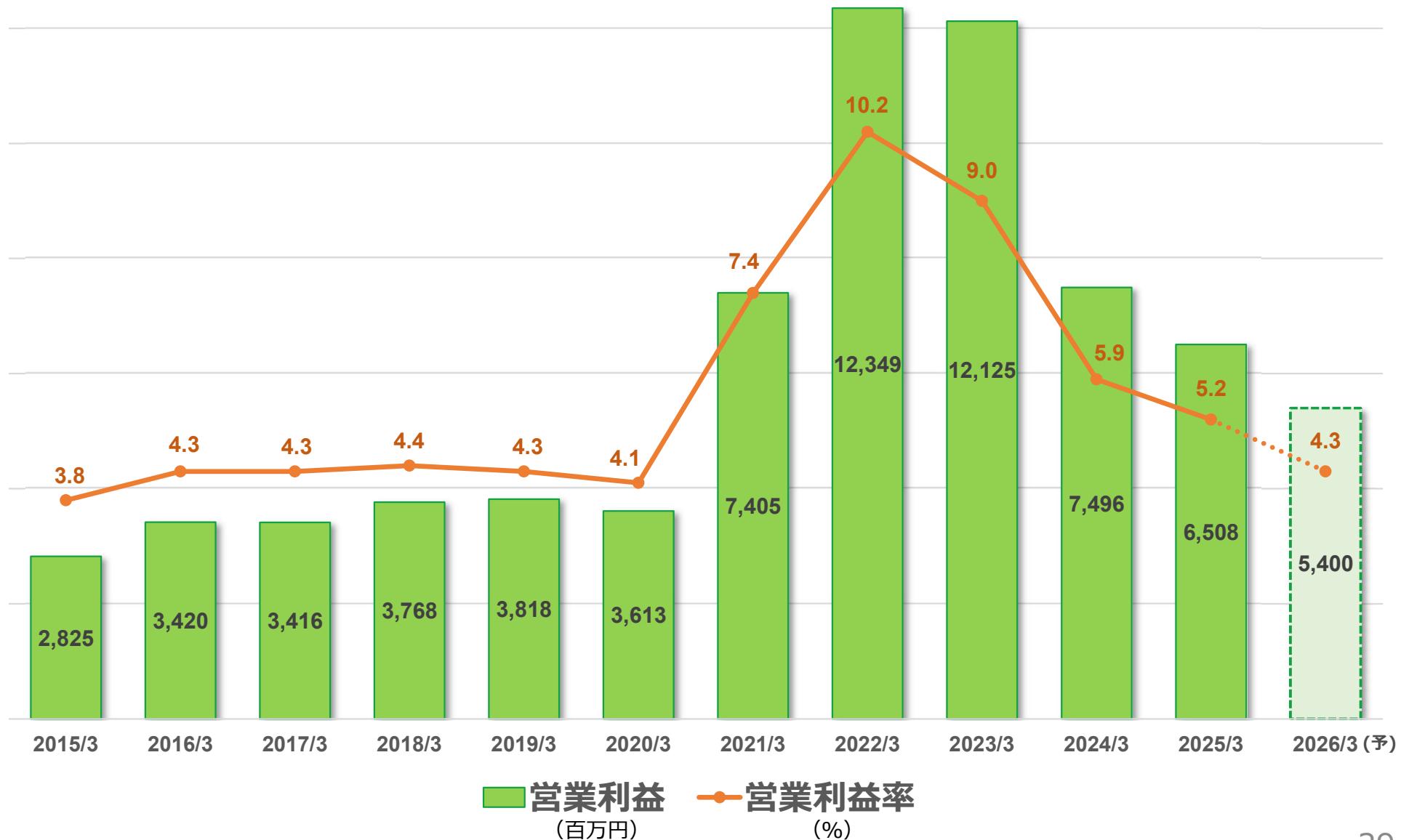


	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3(予)
フィッティング事業	61,473	65,318	66,461	72,824	76,827	78,031	91,150	108,281	120,152	112,799	110,349	111,500
ゴルフ事業	5,210	5,852	5,247	5,760	4,471	4,176	4,576	6,886	8,138	6,421	6,444	6,200
スポーツ事業	7,191	7,556	7,108	6,845	6,169	5,683	4,184	5,109	5,911	6,429	6,809	6,900
その他の事業	278	298	324	355	343	366	392	406	380	358	380	400
合計	74,153	79,026	79,142	85,785	87,811	88,258	100,304	120,684	134,583	126,008	123,983	125,000

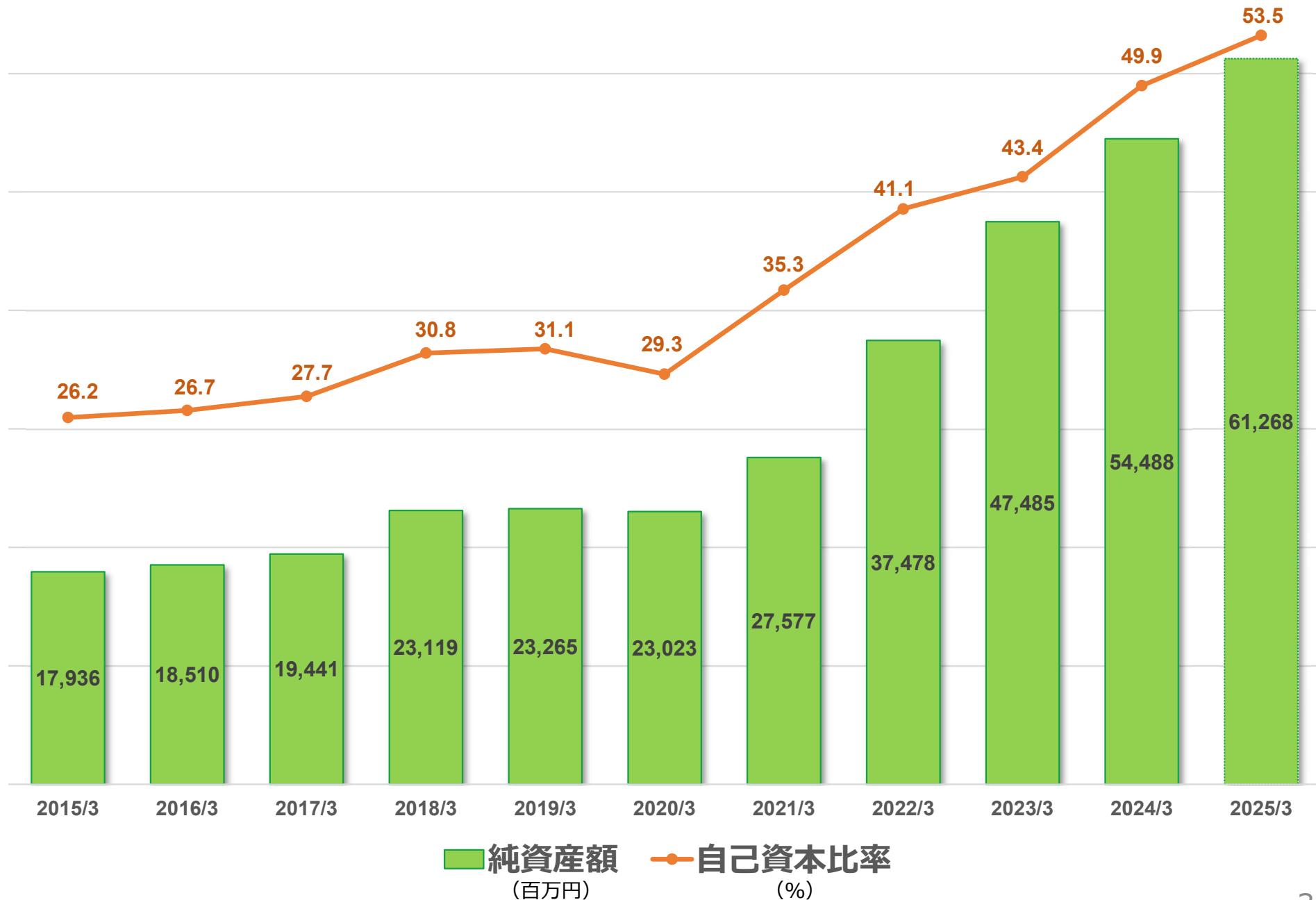
# セグメント別（地域別）売上高の推移



# 営業利益・営業利益率の推移



# 純資産・自己資本比率の推移



## ご参考②：基礎情報

**[SLOGAN]**

## Feel the earth.



地球を感じ、生きていく。

感じよう。  
日常の中で地球を。  
それは、新しい歓び、新しい生き方。  
これからの豊かさが、そこにあります。

**[VISION]**

## A Lifetime Sports Company



人生を豊かにするスポーツ。

日常の中で地球を感じる、新しい歓び、新しい生き方。  
私たちはスポーツの新しい地平を開きます。  
すべての人が人生をいつまでも爽快な感動で満たす、  
これからの豊かさをつくっていきます。

## 世界のライフタイム・スポーツ・カンパニーへ

**社 名** グローブライド株式会社 (GLOBERIDE, Inc.)

**本 社** 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号

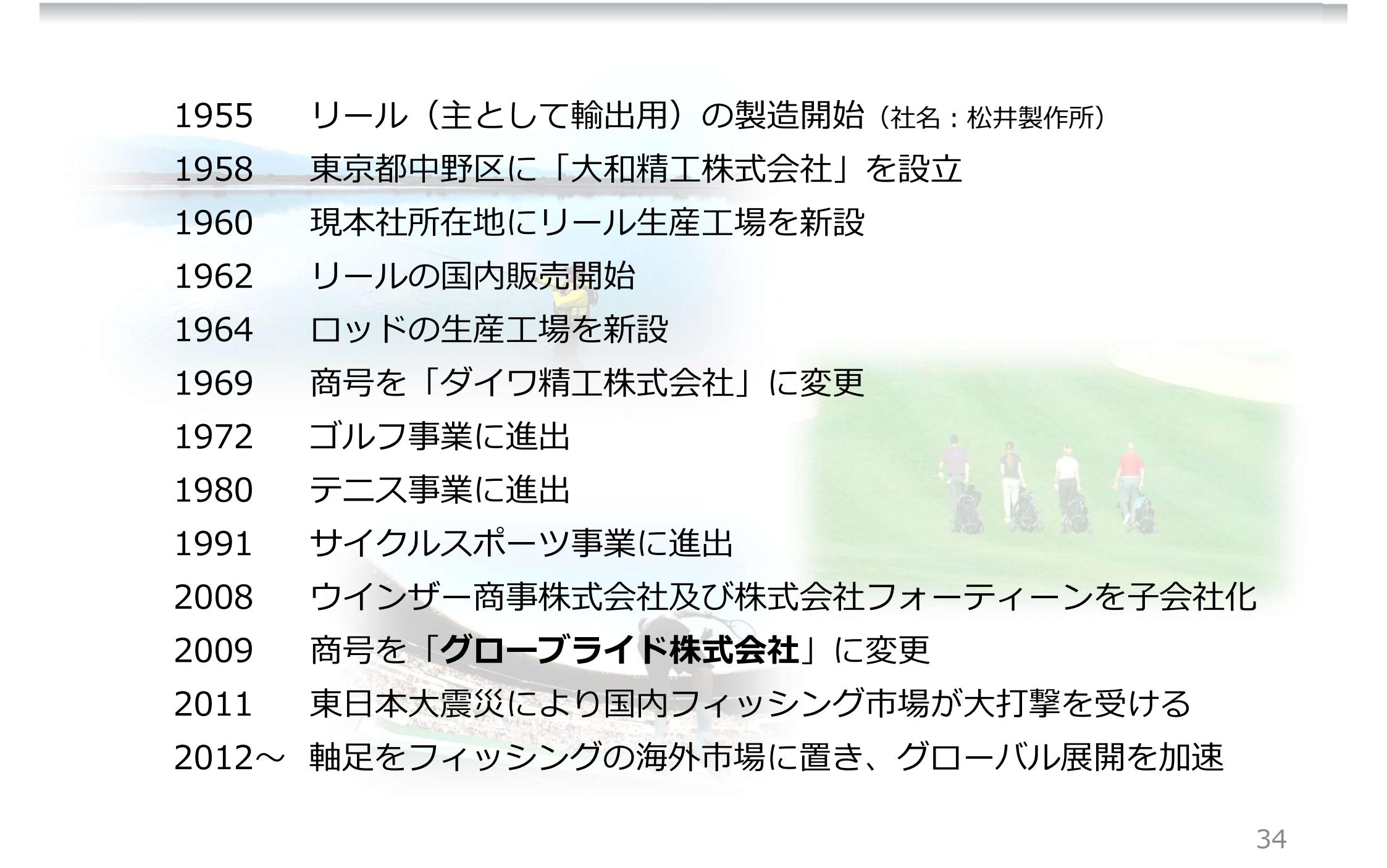
**設 立** 1958年7月29日 ※登記上は1945年12月26日

**代 表 者** 代表取締役社長執行役員 鈴木 一成

**資 本 金** 41億8,411万円 <2025年9月末>

**従業員数** 連結 7,090名 / 個別 871名 <2025年9月末>

**関係会社** 国内 8 社 / 海外 21 社

- 
- 1955 リール（主として輸出用）の製造開始（社名：松井製作所）
- 1958 東京都中野区に「大和精工株式会社」を設立
- 1960 現本社所在地にリール生産工場を新設
- 1962 リールの国内販売開始
- 1964 ロッドの生産工場を新設
- 1969 商号を「ダイワ精工株式会社」に変更
- 1972 ゴルフ事業に進出
- 1980 テニス事業に進出
- 1991 サイクルスポーツ事業に進出
- 2008 ウインザー商事株式会社及び株式会社フォーティーンを子会社化
- 2009 商号を「**グローブライド株式会社**」に変更
- 2011 東日本大震災により国内フィッシング市場が大打撃を受ける
- 2012～ 軸足をフィッシングの海外市場に置き、グローバル展開を加速



# MEMO

**GLOBERIDE**  
A Lifetime Sports Company

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

# MEMO

**GLOBERIDE**  
A Lifetime Sports Company

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## **【免責事項】**

※本資料に記載している予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。